

加東市地域公共交通網形成計画の進捗状況と今後の予定について

《数値目標の進捗》

数値目標 1 地域公共交通の利用者の増加

指 標	当初 (基準年次)	現状 (基準年次)	目標 (目標年次)	備 考
鉄道の乗車人数	274.5千人/年 (H27年度)	280.5千人/年 (R1年度)	280千人/年 (R3年度)	市内の各駅の乗車 人数の合計
路線バスの利用者数	1,282千人/年 (H27年度)	1,113千人/年 (R1年度)	1,300千人/年 (R3年度)	市内を通行する便 の利用者数の合計
通勤・通学における 地域公共交通の分担率	7.1% (H22年度)	H27国勢調査では 調査なし	10.0% (R2年度)	鉄道・電車・乗合 バスの利用割合 (国勢調査結果)

数値目標 2 市民及び地域による地域公共交通確保への主体的な取組

指 標	当初 (H28年度)	現状 (R2年度)	目標 (R4年度)	備 考
地域主体の公共交通 の取組数	2箇所	3箇所	4箇所	市町村運営有償運 送などの取組地区 数
市民及び地域等による 待合環境の改善数	1箇所	1箇所	3箇所	市民・地域・企 業・団体による主 体的な待合環境の 改善数

数値目標 3 地域公共交通によるまちのにぎわいの創出

指 標	当初 (H28年度)	現況 (R2年度)	目標 (R4年度)	備 考
商業施設に併設した 交通結節点の整備	0箇所	0箇所	1箇所	やしろショッピングパー クBio隣接地におけ るバスターミナル整備

《 17の施策の進捗状況及び今後の予定》

令和2年10月末時点

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等	
1	【重点施策】 交通の中核となる新たな交通結節点の整備	計画	バスターミナル整備に向けた調整			バスターミナル整備		供用開始	<p>新たな交通結節点の整備として、やしろショッピングパークBio隣接地においてバスターミナルの整備に取り組んでいます。</p> <p>当初は、基本設計及び実施設計を一括発注して工期を短縮することで、令和4年4月の供用開始を目指していましたが、交通事業者や関係機関との調整をより丁寧に行うために別発注としたことで、令和4年10月の開設予定となりました。現在、基本設計は概ね完了し、実施設計の発注準備を行っています。また、用地契約に向け、地権者と交渉を重ねています。</p> <p>並行して、神姫バス(株)とバスターミナルに乗り入れる路線やダイヤの調整を行っています。</p> <p>令和3年度には、6月末まで実施設計を行い、10月の工事着手を予定しており、引き続き関係機関との協議を重ねながら、令和4年10月の供用開始に向け、取り組んでいきます。</p>
		実績 (見込み)			交通事業者・関係機関・庁内との調整	基本設計	実施設計	整備工事	
2	パーク&ライド推進のための駐車場等の整備	計画	滝野社IC駐輪場整備	駐車場及び駐輪場に関する情報の発信、充足状況の調査・把握				<p>高速バス利用者の利便性向上及び周辺環境の向上のため、平成29年度に、滝野社IC隣接地に駐輪場を整備しました。</p> <p>JR加古川線利用者の利便性向上及び周辺環境の向上のため、令和元年度に、社町駅駐輪場の増築を行いました。</p> <p>新設バスターミナルには、パーク&ライド用駐車場・駐輪場を整備します。</p> <p>今後も、必要に応じて駐車場や駐輪場の利用状況を調査・把握するとともに、適正な維持管理を行っていきます。</p>	
		実績 (見込み)	滝野社IC駐輪場整備		駐車場及び駐輪場の適正な維持管理		JR社町駅駐輪場増築		
3	東西にある既存ストックの有効活用による観光・交流のまちづくり	計画	東西の拠点を活用した地域公共交通ネットワーク形成の取組				市内移動での中国縦貫自動車道の活用の調査・研究		<p>「まちの拠点」であるやしろショッピングパークBio周辺を中心とした、公共交通網ネットワーク形成に向けた調査・研究を行っています。</p> <p>また、道路部局とも連携しながら、幹線道路の有効活用について調査・研究を行っています。(加東市道路整備基本計画、加東市自転車活用推進計画への参画)</p> <p>今後も引き続き、同様の調査研究を行っていきます。</p>
		実績 (見込み)			地域公共交通ネットワーク形成の調査・研究	中国縦貫自動車道をはじめとする幹線道路の活用の調査・研究			

			H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等
4	【重点施策】 広域交通（鉄道・高速バス・路線バス）と連動した地域公共交通ネットワークの形成	計画	→ 広域幹線と市内の移動手段との乗継待ち時間の短縮、運行ダイヤの見直し						市町村運営有償運送や乗合タクシーのダイヤ作成にあたっては、利用者にとって分かりやすいダイヤ（パターンダイヤ等）となるよう配慮しています。 社三田線については、社地域と東条地域間の移動ルートの充実を図るため、ルート見直しにあたっては、代替ルートや所要時間、料金など、様々な視点から交通事業者と協議を進めています。
			→ 社三田線の運行ルート変更について、関係機関との協議を経て実施						
		実績 (見込み)	→ 利便性向上に向けた運行ダイヤ、ルートの検討						
			→ 路線バスのルート変更に向けた関係機関との協議						
5	高速バスの一層の利便性向上による定住化・交流の促進	計画	→ 高速バスの利便性向上の取組（交通事業者に対する積極的なアプローチ）						令和元年10月のダイヤ改正により、中国自動車道ハイウェイバスの一部の便が、社車庫前から発着しており、利便性の向上に繋がっています。 今後、新設バスターミナルへの高速バスの乗り入れや、さらに利用しやすいダイヤへの改正、増便に向けて、交通事業者や関係機関への要望を強化していきます。
			→ 交通事業者との協議						
		実績 (見込み)	→ 社車庫からの発着			→ バスターミナルからの発着			
6	小中一貫校のスクールバスの有効活用	計画	→ スクールバスの有効活用や混乗の調査・研究						今後、開校スケジュールにあわせて、活用のあり方やルート・ダイヤ等について、交通事業者や地域、教育委員会・学校等と調整を進めていきます。
			→ 有効活用の検討						
		実績 (見込み)	→ スクールバスの有効活用等の調査・研究			→ 有効活用の検討			
			● 東条地域スクールバス運行開始						

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等	
7	【重点施策】 タクシーの有効活用に向けた取組	計画	福祉タクシー事業のあり方の検討						福祉タクシー事業については、タクシーチケット利用のルールを見直し（1回の利用枚数に制限を設ける）、本来の制度目的に合った運用となるよう、制度改正を行いました。 乗合タクシーについては、令和2年7月から、社市街地において、定時定路線での試験運行を開始しており、本格運行に向け、試験結果をもとにルート・ダイヤ等を精査していきます。
		計画	乗合タクシー（定時定路線型、デマンド型）導入の検討、社会実験（実証運行）						
	【重点施策】 タクシーの有効活用に向けた取組	実績（見込み）	●福祉タクシー事業の一部見直し	福祉タクシー事業のあり方の検討					
		実績（見込み）	乗合タクシー導入に向けた検討		乗合タクシー試験運行		乗合タクシー本格運行		●試験運行ルート・ダイヤの一部見直し
8	【重点施策】 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施	計画	地域や学校、事業所などを対象としたモビリティ・マネジメントの実施						平成30年度及び令和元年度の加東市秋のフェスティバルにおいて、神姫バス㈱の協力のもと、バスの乗車体験イベントを開催しました。 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントを開催していません。 今後は新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、実施内容を検討していきます。 平成30年度から毎年、公共交通ガイドブックを発行しています。今後も公共交通の利用促進のため、改訂版を発行していく予定です。
		計画	地域公共交通の利用案内や総合時刻表の作成・配布により啓発						
	【重点施策】 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施	実績（見込み）	●公共交通ガイドブック第1版発行	●バス乗車体験（秋のフェスティバル）	●バス乗車体験（秋のフェスティバル）	モビリティ・マネジメントの検討・実施			
		実績（見込み）		●公共交通ガイドブック第2版発行	●公共交通ガイドブック第3版発行	公共交通ガイドブックの改訂			

			H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等
9	待合環境の改善	計画			待合環境の改善				待合環境の早急な修繕が必要な施設はありませんが、こまめに状況把握を行い、必要に応じて修繕等の対応をしています。 新設バスターミナルには、待合室を整備するとともに、バス・タクシー乗り場にシェルターやベンチを設置し、快適な待合環境となるよう整備します。 地域の主体的な取組による待合環境の改善については、利用できる補助制度の情報提供や交通事業者との調整を担うなど、バックアップに取り組んでいきます。
				地域の主体的な取組やスポンサー協力企業の募集					
実績 (見込み)				待合環境の状況把握・改善					
				地域・スポンサー企業への説明、働きかけ等					
10	情報通信技術（ICT）を活用した利便性の向上	計画			情報通信技術（ICT）を活用した利便性の向上				公共交通ガイドブックにICカードの情報を掲載するなど、周知に努めました。 今後、分かりやすく利用しやすい運賃体系（一律運賃制度）を構築するため、神姫バス㈱のニコパカードを用いた割引制度の導入について、検討を進めます。 また、新設バスターミナルへのバスロケーションシステムの導入を検討します。
					ICカード等のPR				
実績 (見込み)					ICカードを用いた路線バス運賃割引制度の検討				
						新設バスターミナルへのバスロケーションシステムの導入検討			
11	地域公共交通に関する情報提供、PR施策の展開	計画			公共交通に関する情報の積極的な発信				市ホームページや広報かとうに公共交通に関する記事を掲載し、情報提供を行いました。 また、公共交通ガイドブックにルートやダイヤはもとより、バスの乗車方法を掲載するなどして、公共交通の利用促進に取り組みました。 今後もさまざまな媒体を用いての情報発信に取り組んでいきます。 近隣市町と連携した公共交通ガイドブックについては、自治体により状況が異なることから現時点では作成できていません。 今後、北播磨県民局とも連携しながら、広域での情報提供やPRのあり方を探ります。
					北播磨定住自立圏によるガイドブックの作成				
実績 (見込み)				公共交通に関する情報発信					
			● 公共交通 ガイドブック 第1版発行	● 公共交通 ガイドブック 第2版発行	● 公共交通 ガイドブック 第3版発行		公共交通ガイドブックの改訂		

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等
12	観光入込客に対する地域公共交通確保の検討	計画	観光入込客に対する地域公共交通確保の検討					北播磨県民局が作成する沿線ガイドにイベント情報を提供するなど、イベントや観光地へのアクセスに公共交通を利用してもらう取り組みを行っています。 今後も観光入込客に対する公共交通の確保のあり方を、広域での実施も含め検討していきます。
		実績(見込み)	公共交通ガイドブック第1版発行	公共交通ガイドブック第2版発行	公共交通に関する情報発信	公共交通ガイドブック第3版発行	公共交通ガイドブックの改訂 広域でのPRの検討	
13	わかりやすく、利用しやすい運賃のあり方による利用者の増加	計画	わかりやすく、利用しやすい運賃のあり方の検討、実施					わかりやすく利用しやすい運賃体系を構築するため、神姫バス(株)のニコパカードを用いた割引制度の導入や、料金の一律化の検討を進めます。
		実績(見込み)	上限運賃(一律運賃)制度の検討、実施					
14	地域公共交通のバリアフリー化の推進	計画	米田ふれあい線車両の更新	地域公共交通のバリアフリー化の推進				市町村運営有償運送の車両の更新・導入の際には、乗降ステップや手すりを設置してバリアフリー化に努めました。乗合タクシーについても、委託事業者により乗降ステップが設置されています。 新設バスターミナルについては、点字ブロックや多目的トイレを整備し、誰もが利用しやすい施設とします。 今後も状況把握を継続し、必要に応じてバリアフリー化の取組や、事業者への要請を実施します。 また、誰もが安心して地域公共交通を利用できるよう、心のバリアフリーに関する意識醸成に努めます。
		実績(見込み)	米田ふれあい線車両更新	とうじょうあいあい線車両導入	地域公共交通のバリアフリー化、心のバリアフリーの推進	乗合タクシー車両改良	福田地区車両導入	

			H29	H30	R1	R2	R3	R4	進捗状況、今後の対応等		
15	【重点施策】 地域の主体的な取組による 移動手段の維持・拡大 と新たな確保	計画	運行環境の改善		市町村運営有償運送の維持・事業拡大				米田ふれあい線（米田地区）、きよみず線（鴨川地区）に加え、令和元年度からとうじょうあいあい線（東条西地区の一部）が運行を開始しました。また、福田地区においても令和2年度の試験運行を経て、令和3年度から運行を開始する予定です。 運行にあたっては、地域の意向を踏まえながら、安全運転講習、環境改善、ルート・ダイヤの見直し等に取り組んでいます。 平成29年度から、運転手手当を増額（1往復あたり2,000円→3,000円）して運行環境の改善を図りました。 新たな地域への導入については、制度の手引き（冊子）やPRビデオを活用して、今後も導入に向けた地域との協議を行ってまいります。		
			市町村運営有償運送の新たな導入に向けた取組								
			市町村運営有償運送の維持・拡大及び新たな導入に向けた取組								
		実績 (見込み)	米田ふれあい線（H24～）、きよみず線（H26～）の運行								
							とうじょうあいあい線の運行				
							福田地区市町村運営有償運送の運行				
			●運転手手当の増額								
16	交通事業者のCSR活動による利用促進	計画	交通事業者のCSR活動による利用促進							平成30年度及び令和元年度の加東市秋のフェスティバルにおいて、神姫バス㈱の協力のもと、バスの乗り方教室を開催しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントを開催していません。 今後は新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、事業のあり方や内容を検討していきます。	
		実績 (見込み)	●バス乗車体験（秋のフェスティバル）		●バス乗車体験（秋のフェスティバル）		CSR活動のあり方の検討、場の提供				
17	地域公共交通の事業推進体制の整備及び人材の育成	計画	公共交通専門部署の設置				地域公共交通の人材育成				市町村運営有償運送については、定期的に運行会議を開催して意見交換等を行うことで人材育成、継承に努めています。 また、国や県等が開催する公共交通に関する研修会に市職員が出席し、知識習得に努めています。 平成30年度には公共交通専門部署として交通政策係を設置し、体制強化を行いました。
		実績 (見込み)					地域公共交通の人材育成				
			公共交通専門部署の設置								